



厚生労働省指針13物質対応
文部科学省基準6物質対応

鉛・クロムフリー

JQA-2631 (本社工場)
JQA-EM3548 (本社工場)

厚膜水系硬質ウレタンコンクリート塗料

ボウジンテックス

UコンII



最高の耐久性

- 超耐衝撃性
- 耐熱水性
- 抗菌性
- 難燃性

最高の耐久性! 機能充実!

ボウジンテックス UコンIIは、**耐久性に優れた水性硬質ウレタンコンクリート床材**です。ウレタン樹脂と無機材料との複合塗膜は、**耐薬品性・抗菌性・難燃性**に優れるため化学薬品工場、食品工場床等の耐久性が求められるコンクリート床、**熱水**が常時かかる厨房床、重量物の運行で損傷を受けたり剥がれたりする物流倉庫床に適しています。さらに、水系塗料であるため臭いが少なく、安全性が高く、環境にやさしい床材です。また、施工においても下地のコンクリートと同じ材料を含有しているため、有機塗膜と比べ下地からの影響を受けにくい特長を持っています。**低温硬化性**がよく、冬場でも翌日には歩行可能です。



耐熱水性

熱水が常時かかる床面に使用可能!
R工法100℃(F工法80℃)

耐衝撃性

傷が付きにくく、重量物の荷重に
耐える極めて強靱な塗膜を提供!

耐薬品性

酸、アルカリに対する
耐久性に優れる

耐汚染性

硬質で滑らかな塗膜がタイヤ痕や
足跡等の汚れをブロック!

難燃性

無機成分が多いため、
火災時の床面からの
燃焼拡大を防ぐ!

工程 短縮

シーラー不要!
強度の発現が早く
翌日に作業が可能。

低臭気 安全性

安心の水系設計!
臭気が少なく、
有害なガスも発生しない。
●厚生労働省指針13物質対応!
●文部科学省基準6物質対応!
●F☆☆☆☆

抗菌性

床面の菌の繁殖を防ぎ、
清潔な空間を保つ。

作業性

セメント含有で下地と
同成分であるため、
膨れやはがれの
トラブルを軽減。

- 1 熱水・油脂・糖類等が使用される食品工場、厨房床
- 2 フォークリフトの運行など重量物を運搬する物流倉庫
- 3 酸、アルカリ等の薬品が使用される化学薬品工場床
- 4 工期短縮が必要な厨房、給食室
- 5 長期耐久性が必要な工場床

※ボウジンテックス UコンIIは、性能に応じて

F工法(耐汚染性、耐薬品性、艶有り)

R工法(耐熱水性)

W工法(立面用)に分かれています。



厨房



食品工場



機械工場



自動車修理工場



化学薬品工場・印刷工場

性能に応じた**3**つの工法

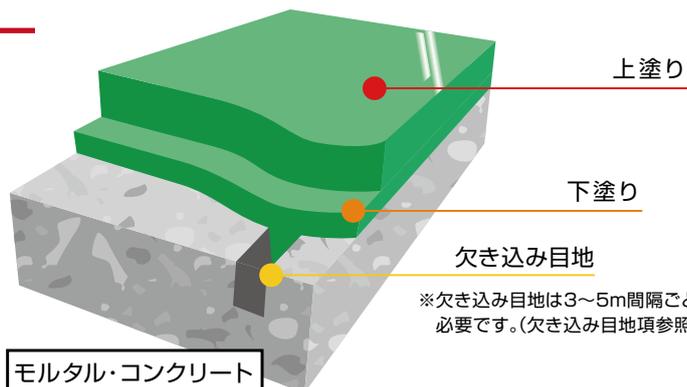
ボウジンテックス UコンII **F工法** (平滑)

- ◎耐汚染性
- ◎耐薬品性
- ◎耐衝撃性
- ◎艶有り(鏡面光沢度:70程度)
- 耐熱水性(80℃)

物流倉庫・化学薬品工場に最適!

用 途

- フォークリフトの運行など、重量物を運搬する物流倉庫
- シームレスな作業ラインが必要な工場
- 洗浄・清掃が頻繁に行われる床
- 耐薬品性を要求されるエリア



※欠き込み目地は3~5m間隔ごとに必要です。(欠き込み目地項参照)

ボウジンテックス UコンII R 工法 (防滑)

- ◎耐熱水性(100℃)
- ◎耐衝撃性
- 耐薬品性
- ※光沢はありません。

食品工場・厨房に最適!

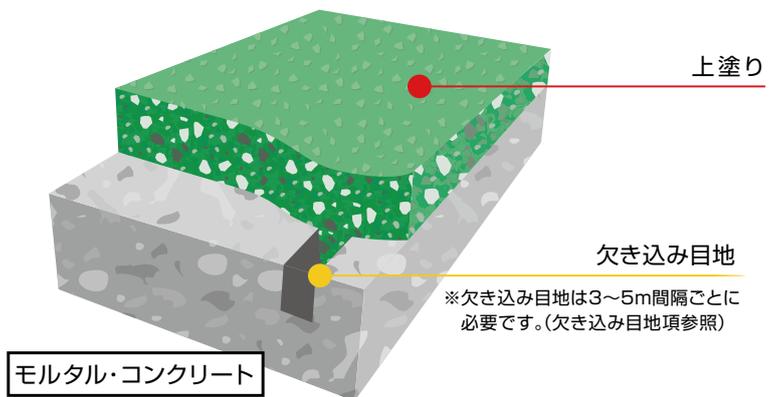
用途

◆新設の場合

- 加熱調理、高圧洗浄を行うエリア
- 高い衛生管理が要求されるエリア
- 耐衝撃性が要求されるエリア

◆改修工事の場合

- 稼働中の製造エリア
- 劣化が激しく凹凸のあるエリア
- 施工期間が取れないエリア



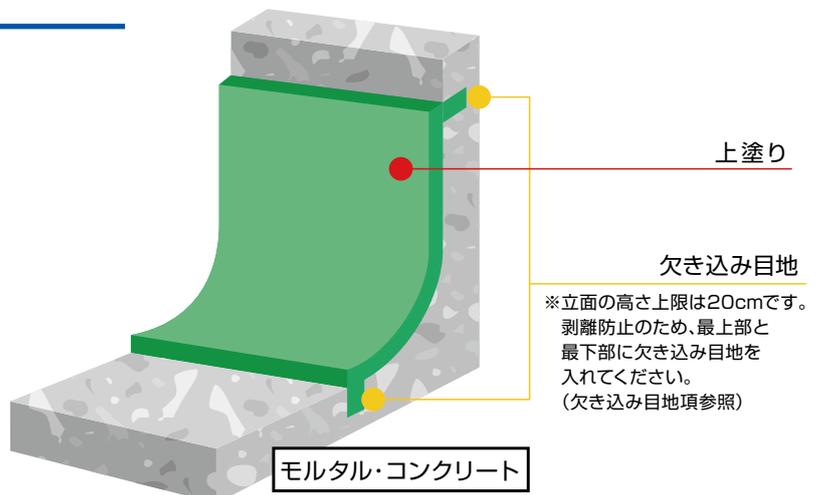
ボウジンテックス UコンII W 工法 (立面)

- ◎立ち上がり面
- 耐熱水性(60℃)
- ※光沢はありません。

**巾木・立面への施工!
立面へのアール処理に最適!**

用途

- 食品工場内巾木
(アールは下地で調整してください。)
- 側溝・排水桝立ち上がり
- 各所加熱エリア立ち上がり

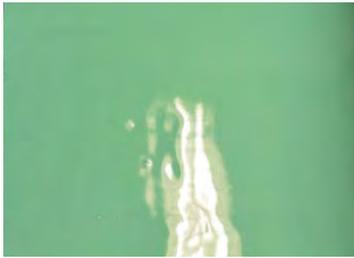


最高の耐久性!

■耐衝撃性

試験方法:日本塗り床工業会の試験方法に準じて、1kgの鋼球を高さ1mから落下させ表面および基材に異常がないかを試験する。

F工法		R工法
3mm	4mm	6mm
30回以上異常なし	60回以上異常なし	60回以上異常なし

	コンクリート基材のみ	厚膜エポキシ塗料(樹脂モルタル工法5mm)	UコンⅡF工法(4mm)
施工前			
	↓ 8回	↓ 19回	↓ 30回
施工後			

■耐熱水性

熱水サイクルテスト:90℃熱水5分→20℃冷水10分を1サイクルとした繰り返しテストで、耐熱水性が低いと膨れが生じる。

MMA (6mm) 100サイクル	厚膜エポキシ (6mm) 200サイクル	UコンⅡ R工法 (6mm) 1,000サイクル以上
		

■耐汚染性

耐汚染性試験:タイヤ片をこすりつけ、黒いタイヤ痕がどれだけ生じるか評価する。

従来の水硬ウレタン	厚膜エポキシ	UコンⅡ
		

耐薬品性

試薬の種類		F工法 (3mm, 4mm)	R工法 (6mm)	試薬の種類		F工法 (3mm, 4mm)	R工法 (6mm)
酸	塩酸(10%)	◎	○	溶剤	トルエン	◎	◎
	硫酸(10%)	◎	○		キシレン	◎	◎
	硝酸(10%)	○	△		メタノール	◎	◎
	燐酸(10%)	◎	○		アセトン	◎	◎
	酢酸(10%)	○	△		フェノール(10%)	×(膨潤)	×(膨潤)
	乳酸(25%)	◎	○		油脂類 食品類	動植物油	◎
	蟻酸(40%)	○	△	ガンソリン		◎	◎
	クエン酸(10%)	◎	○	白灯油		◎	◎
	シュウ酸(10%)	◎	◎	マシン油		◎	◎
	酒石酸(10%)	◎	○	食塩水(飽和)		◎	◎
	アルカリ	水酸化ナトリウム(30%)	◎	◎		醤油	◎
水酸化カルシウム(飽和)		◎	◎	酒類		◎	◎
アンモニア(25%)		◎	◎	果汁		◎	◎
次亜塩素酸ナトリウム(1%)		◎	○	洗剤類		◎	◎
塩類	炭酸バリウム(飽和)	◎	◎	牛乳		◎	◎
	重炭酸ナトリウム(飽和)	◎	◎				
	炭酸ナトリウム(飽和)	◎	◎				
	塩化カルシウム(飽和)	◎	◎				
	硫酸カルシウム(飽和)	◎	◎				

試験方法：JIS A 5705に準じた48hスポット試験
 評価：◎異常なし ○若干変化あり △変化あり ×不良

難燃性

ボウジンテックス UコンIIは、第三者機関により、難燃性を有すると評価をされています。(JIS K 7201に準ずる)

※酸素指数とは、材料の燃えやすさの指標を表し、酸素指数が26以上であれば難燃性を有すると判断されています。

	酸素指数
ボウジンテックス UコンII F工法	26以上
ボウジンテックス UコンII R工法	26以上



抗菌性

ボウジンテックス UコンIIは、抗菌効果があります。(JIS Z 2801に準ずる)

※JISでは抗菌活性値が2.0以上のとき、抗菌効果があると規定されています。

試験菌	大腸菌	黄色ぶどう球菌
抗菌活性値	6.6	5.3

基本物性

試験項目	試験方法	F工法 (3mm)	F工法 (4mm)	R工法 (6mm)
鏡面光沢度	JIS K 5600-4-7に準ずる。	70	70	5
硬 度	デュロメーター タイプD	80	80	80
圧 縮 強 度 (MPa)	JIS K 6911に準ずる。 圧縮速度 1min/min	42	42	33
曲 げ 強 度 (MPa)	JIS K 6911に準ずる。	12	12	9
耐 摩 耗 性 (mg)	JIS K 5600-5-9に準ずる。 摩耗輪CS-17 荷重500g×2,1000回転	50±5	50±5	55±5
付 着 性 (MPa)	JIS A 5536に準ずる。 建研式接着力試験機	3.0 (基材破壊)	3.0 (基材破壊)	3.0 (基材破壊)
耐 熱 水 サイクルテスト	90℃熱水 5分 → 20℃冷水 10分を1サイクルとする。	—	500サイクル以上	5,000サイクル以上
ホルムアルデヒド 放散等級	JIS K 5970 デシケータ法	F☆☆☆☆	F☆☆☆☆	F☆☆☆☆

※基本物性の試験データは実測値であり、保証値ではありません。

施工手順例

施工開始

※養生時間について
 軽歩行: 16h(硬化促進剤使用時)
 最終養生: 24h(フォークリフト通行可能)



施工前準備(施工前養生)



硬化養生



完成



材料の混合方法

①主剤、促進剤の混合

混合用の容器(ペール缶等)に主剤と促進剤を入れ混合する。
 ※促進剤は施工温度により必要量が異なります。(促進剤添加量表参照)



②主剤、硬化剤の混合

①に硬化剤を投入、ハンドミキサー(400rpm以下)で約20秒間混合する。



③粉体の投入、攪拌

ドラム回転式ミキサーに②の混合溶液をセットし、粉体を徐々に加えて
 ダマがでないよう攪拌する。

※攪拌時間は気温により変わります。下記の気温別攪拌時間表をご参照ください。

気温別攪拌時間表

F工法

気温	5℃	10℃	15℃	20℃	25℃	30℃
攪拌時間	4分	3分30秒	3分	2分30秒	2分	1分40秒

R工法・W工法

気温	5℃	10℃	15℃	20℃	25℃	30℃
攪拌時間	3分30秒	3分	2分30秒	2分	1分40秒	1分30秒

BOUJINTEX U CON II



素地調整：旧塗膜の除去および不陸調整



下地処理：欠き込み目地、クラックの補修

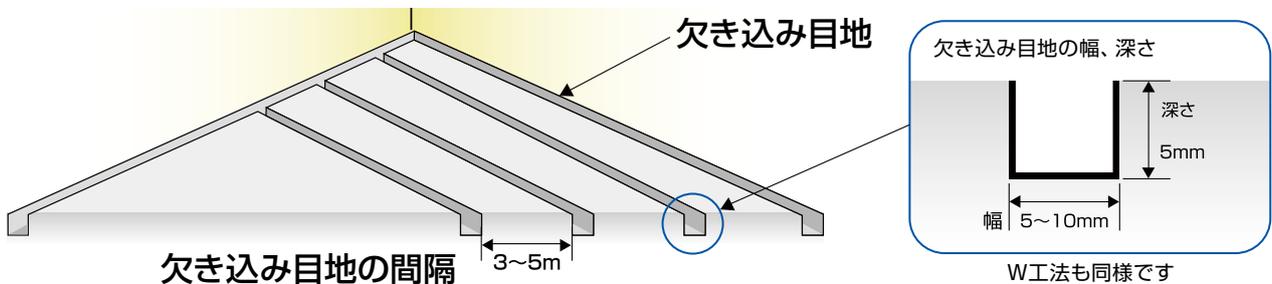


施工中



施工前

欠き込み目地

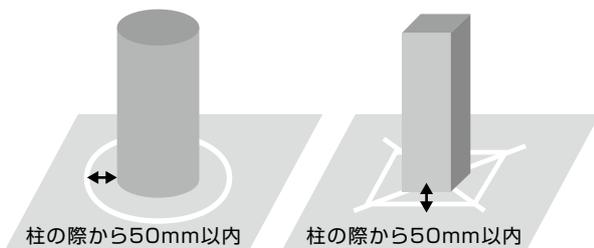


欠き込み目地の間隔

剥離防止のため欠き込み目地を入れてください。

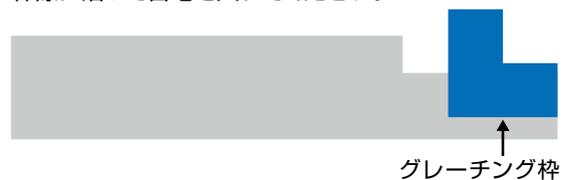
- 1 施工面の周辺部に欠き込み目地を入れる。(W工法の場合は、最上部と最下部に欠き込み目地を入れてください。)
- 2 施工面は3~5m間隔で欠き込み目地を入れる。(幅：5~10mm 深さ：5mm)

■ 柱周り

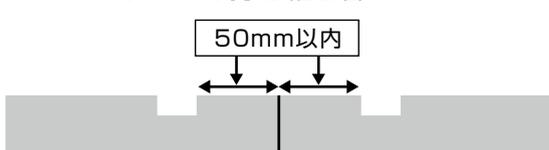


■ グレーチング

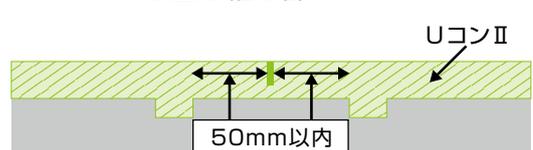
枠に沿って目地を入れてください。



■ コンクリートの打ち継ぎ部



■ UコンIIの塗り継ぎ部



塗装仕様

工 程	使用塗料	調合割合	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /袋セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)	
								工程間	歩行可能
素地調整 1	新打設のコンクリート面では夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ(モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上)、表面層の水分率5%以下(デジタル水分計)とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ず、ポリッシャーまたはライナックス等でUコンIIが含浸する下地面になるまで目粗しを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。旧塗膜面ではライナックス等で旧塗膜をすべてハツリとする。								
素地調整 2	剥離防止処理を施す。(『欠き込み目地』の項参照) 1. 施工面の周辺部に欠き込み目地を入れる。(W工法の場合は、最上部と最下部に欠き込み目地を入れてください。) 2. 施工面は3~5m間隔で欠き込み目地を入れる。(幅:5~10mm 深さ:5mm)								

■F工法 (膜厚:約3mm) ※下塗り工程後、ピンホールが生じている場合は、別途ピンホール補修工程を行ってから上塗りを塗装してください。

工 程	使用塗料	調合割合	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /袋セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程間	歩行可能	
下塗り	ボウジンテックス UコンII	F工法 主剤 促進剤 F工法 硬化剤 F工法 粉体	4kg 別表参照 4kg 16kg	金ゴテ	1	2.2	10.9	15分 以内	16h 以上	—
上塗り	ボウジンテックス UコンII	F工法 主剤 促進剤 F工法 硬化剤 F工法 粉体	4kg 別表参照 4kg 16kg	金ゴテ	1	3.8	6.3	15分 以内	—	16h 以上 完全硬化 2日以上

■F工法 (膜厚:約4mm) ※下塗り工程後、ピンホールが生じている場合は、別途ピンホール補修工程を行ってから上塗りを塗装してください。

工 程	使用塗料	調合割合	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /袋セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程間	歩行可能	
下塗り	ボウジンテックス UコンII	F工法 主剤 促進剤 F工法 硬化剤 F工法 粉体	4kg 別表参照 4kg 16kg	金ゴテ	1	2.2	10.9	15分 以内	16h 以上	—
上塗り	ボウジンテックス UコンII	F工法 主剤 促進剤 F工法 硬化剤 F工法 粉体	4kg 別表参照 4kg 16kg	金ゴテ	1	5.4	4.4	15分 以内	—	16h 以上 完全硬化 2日以上

■R工法 (膜厚:約6mm)

工 程	使用塗料	調合割合	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /袋セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程間	歩行可能	
上塗り	ボウジンテックス UコンII	R・W工法 主剤 促進剤 R・W工法 硬化剤 R工法 粉体	2kg 別表参照 2kg 20kg	金ゴテ	1	13.2	1.82	15分 以内	—	16h 以上 完全硬化 2日以上

■W工法 (膜厚:約3mm)

工 程	使用塗料	調合割合	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /袋セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程間	歩行可能	
上塗り	ボウジンテックス UコンII	R・W工法 主剤 促進剤 R・W工法 硬化剤 W工法 粉体	2kg 別表参照 2kg 14kg	金ゴテ	1	6.0	3.0	15分 以内	—	16h 以上 完全硬化 2日以上

※W工法は下地がモルタル・コンクリート専用です。 ※W工法の高さ上限は20cmです。剥離防止のため、最上部と最下部に欠き込み目地を入れてください。
※W工法では、少ない調合量での施工をおすすめします。

■ピンホール補修工程

工 程	使用塗料	調合割合	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /袋セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程間	歩行可能	
ピンホール 補修	ボウジンテックス UコンII	F工法 主剤 促進剤 F工法 硬化剤 白セメント	4kg 別表参照 4kg 4kg	金ゴテ しごき塗り	1	0.1~0.2	60~120	10分 以内	3h 以上	—

促進剤添加量

■ 可使用時間 ※()内は歩行可能時間

施工温度		5℃	10℃	15℃	20℃	25℃	30℃
促進剤の添加量 (主剤に対して)	0%				15分(16h)	15分(14h)	12分(12h)
	0.50%			15分(16h)	14分(14h)		
	1%		17分(20h)	14分(14h)	12分(12h)		
	2%	17分(20h)	15分(16h)	12分(12h)			
	3%	15分(16h)	12分(12h)				

※施工温度15℃以下では、光沢や物性低下を起こす可能性がありますので、必ず促進剤をご使用ください。
また、25℃以上では、ゲル化の促進または膨れ発生の要因になりますので促進剤を使用しないでください。

■ ピンホール補修時の可使用時間

施工温度	5℃	10℃	15℃	20℃	25℃	30℃
促進剤量 (主剤4kgに対して)	240g	160g	120g	80g	60g	40g
可使用時間	10分以内	10分以内	10分以内	10分以内	10分以内	10分以内
インターバル(目安)	3h以上	3h以上	3h以上	3h以上	3h以上	3h以上

注意事項

仕様全般

1. 塗装間隔は厳守してください。
2. モルタル・コンクリート養生後、多量の水がこぼれた箇所は1週間程充分に乾燥させてください。
3. 塗装中に塗料を開封して放置しますと上乾きすることがありますのでご注意ください。また上乾きした塗膜は塗料に混ぜ込まないでください。
4. 静電気をさらう床には塗装しないでください。
5. 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、充分ご注意ください。
6. 塗装による臭気で、近隣に迷惑を掛けることがありますので、充分に配慮をお願いします。
7. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

変色について

1. U CON IIは太陽光・殺菌灯・水銀灯など、紫外線が直接床に照射されると変色が起こります。なお、変色が発生してもU CON IIの性能面へは影響ありません。
2. 特に淡彩系の色は使用状況により短期間で変色する場合があります。
3. 変色が発生しやすい箇所については「ボウジンテックス #5000U」での保護を推奨します。
4. 照明を紫外線非含有タイプのLED光源にすることで変色の進行を遅らせる効果が期待できます。紫外線量に関しては各照明機器メーカーにお問い合わせください。

施工前の注意

1. 施工は気温5～32℃、相対湿度30～80%の条件で行ってください。
5℃以下では硬化不良、32℃以上では膨れが発生する場合がありますので、施工は避けてください。
2. 剥離防止のため、欠き込み目地は必ず入れてください。
3. 下地に旧塗膜がある場合は全て撤去してから施工してください。
4. 下地が軽量コンクリートやポリマーセメントモルタルの場合は、表面強度が弱いので施工できません。
5. 下地が強化コンクリートの場合は付着しません。施工する場合は吸い込みのある面まで削り出す必要があります。
6. 金属面やタイル面には付着しませんので、施工を避けてください。
7. 下地に油類がある場合は付着不良の原因になりますので、洗浄を行い除去してください。
8. U CON IIで勾配を調整することは困難なため、必ず下地で勾配を調整してください。

施工時の注意

1. 使用前には主剤を充分攪拌してください。
2. 促進剤を使用する場合は、まず主剤に促進剤を添加し充分攪拌後、硬化剤を添加してください。
3. 塗装間隔は厳守してください。
4. 施工時の気温により、促進剤の添加量が異なります。促進剤添加量表をご参照ください。
5. 硬化剤はイソシアネートを含有しているため、蒸気・ミスト等を吸い込まないようにしてください。また、皮膚に付着しないよう充分ご注意ください。
6. イソシアネート硬化剤は、ガスの発生により内圧が上がっている可能性がありますので、開栓時には充分ご注意ください。
7. 材料の混合は仕様に従い、正確に量りとってください。また攪拌時間は厳守してください。
8. 3成分型塗料は、それぞれの成分を別々に密栓し冷暗所に保管してください。また、開栓後は早目に使い切ってください。
9. 3成分型塗料の混合は必ず規定の割合で混合し、ミキサーまたはマゼールで充分攪拌してください。
10. 3成分型塗料は、塗料ごとの可使用時間内に塗装してください。また、気温が高い場合極端に可使用時間が短くなりますので、手際よく塗装してください。
11. 硬化剤は危険物ですので、火気厳禁とし、保管・取り扱いには消防法・労働安全衛生法に基づき十分な管理をお願いします。
12. 塗り継ぎ部では若干の色むらを生じる場合があります。
13. 材料を混合した缶などを繰り返し使用しないでください。混合缶は新品を用いるか、洗浄を行った後にご使用ください。反応が進んだ材料と混入した場合は膨れが生じる場合があります。
14. 下塗りが充分に硬化していない(ベタツキ、硬度不足)状態で上塗りを塗装した場合、膨れが生じる場合があります。きちんと硬化したことを確認した後、施工や塗料缶を開放してください。
15. 施工時に直射日光などにより部分的に高温になる箇所は膨れが生じる場合があります。
16. 混合に使用した缶や塗装器具は水では洗浄できません。ボウジンテックス U CON II 洗浄液をご使用ください。
17. イソシアネート硬化剤は湿気(水分)で固まります。使いきるか、残りは密栓して保存してください。

保管に関する注意

1. 直射日光を避け、雨や雪などにより水に濡れないように屋内で保管してください。特に主剤は水系ですので、冬季には凍結しないよう3℃以上の室内で保管してください。
2. 粉体はセメントを含んでいるため、地面に直接置かないようにしてください。
3. 材料は必ず密栓した状態で保管してください。
4. 材料の保管・取扱いは消防法・労働安全衛生法に基づき十分な管理をお願いします。

荷 姿

■F工法の材料

ボウジンテックス UコンII	F工法 主剤	4kg
	F工法 硬化剤 夏用	4kg
	F工法 硬化剤 冬用	4kg
	F工法 粉体	16kg

■W工法の材料

ボウジンテックス UコンII	R・W工法 主剤	2kg
	R・W工法 硬化剤	2kg
	W工法 粉体	14kg

■R工法の材料

ボウジンテックス UコンII	R・W工法 主剤	2kg
	R・W工法 硬化剤	2kg
	R工法 粉体	20kg

■共通の材料

ボウジンテックス UコンII	促進剤	1kg
	洗浄液	16L

カラーサンプル



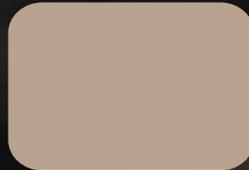
No.9 ライトグリーン



No.21 フレッシュグリーン



No.32 グレー



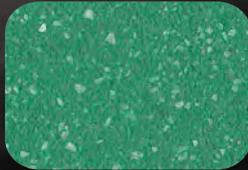
No.26 サンドベージュ



No.28 ゴールドブラウン



No.33 ブライトイエロー



R工法仕上がり見本

※この色見本は印刷によるもので、現物の色とは多少違いがあります。

※UコンIIは紫外線により変色します。特に直射日光や殺菌灯・ブラックライトにより変色が促進する場合があります。



水谷ペイント株式会社

LINE公式
アカウント開設！
ID：@521kgmun

水谷HPは
こちら↓



本 社 ☎ 532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3151 FAX (06) 6393-1101
大阪支店 ☎ 532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3401 FAX (06) 6391-3456
西日本開発部 ☎ 532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3401 FAX (06) 6391-3456
東京支店 ☎ 101-0032	東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル	☎ (03) 3865-8177 FAX (03) 3865-8760
東日本開発部 ☎ 101-0032	東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル	☎ (03) 3865-8177 FAX (03) 3865-8760
北関東支店 ☎ 348-0038	埼玉県羽生市小松台2-705-22	☎ (048) 563-0355 FAX (048) 563-5124
中部支店 ☎ 486-0815	愛知県春日井市十三塚町3-6	☎ (0568) 85-3551 FAX (0568) 85-3556
広島支店 ☎ 734-0022	広島市南区東雲1-13-16	☎ (082) 284-6556 FAX (082) 283-0017
福岡支店 ☎ 811-2304	福岡県糟屋郡粕屋町仲原2628-1	☎ (092) 611-5731 FAX (092) 621-2301
仙台営業所 ☎ 984-0042	仙台市若林区大和町1-22-36	☎ (022) 782-6770 FAX (022) 232-6871
札幌営業所 ☎ 003-0006	札幌市白石区東札幌6条5-2-6	☎ (011) 824-5711 FAX (011) 824-6464
工 場	本社・埼玉・中部・広島・福岡	

塗料相談室 塗料に関するご質問、お問い合わせは…



☎ 06-6391-3039

営業時間：午前 10:00～12:00 午後 1:00～3:00

特約店

カタログ掲載の内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
2304050636220